

しんば「賀津也」と歩む会 NEWS

Shimba Kazuya to Ayumukai NEWS

平成20年8月発行
Vol.13
20,000部発行



「歩む会」の皆様には、日頃より温かいご理解とご支援を賜わり、心から感謝を申し上げます。

早いもので、本当に多くの皆様の励ましやご協力のおかげで戦い抜くことが出来た昨夏の二期目の参議院選挙から二年が経ち、国会議員生活も八年目に突入しました。特に、参議院で「与野党逆転」を成し遂げ、民主党が第一党になることが出来たこの二年間の「ねじれ国会」は、従来とは一変した、全く新しい形での運営による国会となりました。

連立与党にとつては都合の悪い「ねじれ国会」も、納税する国民にとつては、今まで隠されていた「新事実」が次々に表面化する機会となりました。厚生労働省関連では、参院選挙のときに与党が「平成二十年三月までにすべて元に戻す」と公約したはずの「消えた五千万件の年金データ」は、その多くが未解決であるばかりか、新たな不正データも発覚しています。薬害肝炎被害者の救済や後期高齢者医療制度の不備も「ねじれ」の結果で明らかになりました。

国土交通省では、言うまでもなく道路特定財源の無駄遣いや、納税者や自動車ユーザーを無視したガソリン税制・暫定税率問題が表面化しました。情報流出など不祥事の絶えない防衛省も、官僚組織の



2008年5月15日 参議院総務委員会

この間、議院運営委員会の理事という、裏方の地味ながらも法案の行方を左右する職務につきながら、同僚議員に言い続けてきたことがあります。それは「批判だけなら誰でもできる。問題は民主党がこれらの問題をどう解決するか具体策を示すことだ」ということです。次期衆院選を意識し、マスコミを利用して政府・与党の失政の揚げ足を取っているだけでは納税者は絶対に納得しません。民主党が政権を獲れば、本当に消えた年金は元に戻るのか。ガソリン代は安くなるのか。農業や地元商工業は元氣を取り戻すのか。医療や教育は再生するのか。責任は我々にもあるということです。

党派は違っても真面目に国の将来を憂う国会議員や、優秀な国家公務員、地方の行政やそこで働く地方公務員を喚起し、共に日本を再建する国民的運動に参加するよう国全体を目覚めさせる気概が必要で、主役は国民です。今こそ「税金を集めて使う側」でなく「苦勞して税金を払う納税者の立場」に立つ民主党が、真に政権担当可能な政党に脱皮することが必要なのです。

今後とも、厳しいご指導とご支援をよろしくお願い致します。

参議院議員

榛葉 賀津也

二期目の当選以来、国会は休み無しでした。選挙後の第一六八回臨時国会は十四年ぶりの正月返上の越年国会で、その三日後に開会した第二六九回通常国会は一週間延長の百五十六日間でした。連続二百八十四日間の国会活動でした。



2008年の前半、榛葉議員は、参議院の運営に関して協議する議院運営委員会の理事として、「ねじれ国会」の最前線を奔走し続けました。第169回通常国会における主な活動を紹介します。

国会質疑

◆ 議院運営委員会

三月十一日の日本銀行総裁及び副総裁の国会同意人事、翌週十九日の同総裁人事に関して本会議で採決が行われるのに先立ち、意見を表明。榛葉議員は、候補者が過去の不適切な金融政策に対し責任の一端を担っていることや、過去の財務省・大蔵省と日銀のたすきがけ人事の復活につながるものであること等の理由から、同意するべきでないとして主張しました。また、六月三日の議運では、日銀政策委員会審議委員候補者に対し、審議委員の役割や物価高への対応について質問しました。



会派を代表して意見を述べる(3月12日)

◆ 総務委員会

五月十五日

消防法及び消防組織法の部を改正する法律案に関して質問。総務大臣や消防庁長官に対し、消防団での経験を踏まえながら、地方公共団体における危機管理体制、危険物流出事故防止のための立ち入り調査の強化、報酬見直し等の消防団強化策、外国人消防団員の現状等について質問しました。

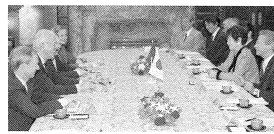


元消防団員の榛葉議員、鋭く質問

議員外交を展開

◆ 議運理事として各国からの来賓と懇談

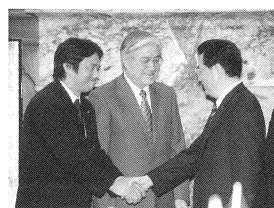
ASEAN議員会議議長一行(二月十八日)、チリ上院議長一行(二月二十八日)、欧州議会議長一行(二月五日)、モンゴル国家大会議議長一行(二月二十六日)、ポルトガル国会議長一行(三月三日)、チュニジア評議員議長一行(四月七日)、中国・胡錦濤国家主席一行(五月八日)と意見交換を行いました。また、参議院議長主催により開催された、中東及びアフリカ地域の駐日大使夫妻を議長長公邸に招待しての懇談会(五月八日)にも出席しました。



ベテリング欧州議会議長一行と意見交換(2月5日)
※右列の奥から2番目が榛葉議員



モンゴル国家大会議議長一行と参議院本会議場にて(2月26日)
※後列の右から4番目が榛葉議員



胡錦濤・中国主席と握手する榛葉議員(5月8日)
撮影:参議院事務局

◆ アンゴラ首相、ガボン政府幹部と意見交換

アフリカ諸国との関係促進にも力を注ぐ榛葉議員は、日本が国連等と横浜で共催した第四回アフリカ開発会議(TICAD IV)五月二十八日(三十日)に出席するために来日したアンゴラ首相(同二十八日)やガボン政府幹部(同三十日)と懇談。世界的課題となっている資源、食糧、環境問題等について意見交換を行いました。



ディアス・ドス・サントス・アンゴラ首相と意見交換(5月26日)

◆ 議運欧州視察

七月十一日(十九日)

欧州の議会運営等の政治情勢について調査するために行われた議運の視察に参加。ドイツ、スイス、ベルギー等を訪問し、各国の国会議員や州政府高官、現地駐在の日本大使等から説明を受けました。



ルーマー欧州議会事務総長と(7月15日)



ピンケルト・テューリンゲン州(ドイツ)全権代表と(7月16日)
撮影:参議院事務局

ハンセン病問題の解決に向けて

◆ 「駿河療養所の明日を築く国会議員懇談会」発足に尽力

六月十一日

入所者であるハンセン病の元患者の高齢化や減少により、療養所の医療・福祉サービス維持や存続そのものが困難になってきています。そのため、元患者の方々の人権や名誉の回復を目指すと共に、施設やサービス維持のために療養所の地域開放を認める基本法の制定を望む声が多く出されています。それを受けて、榛葉議員は、国立駿河療養所(御殿場市)の将来構想づくりを進めるため、静岡県内選出の超党派国会議員による会を立ち上げるべく、呼び掛け人の一人として奔走。奇しくも、「ハンセン病問題基本法」が参議院本会議で可決・成立した六月十日、全国に先駆けて、「駿河療養所の明日を築く国会議員懇談会」を発足させることができました。



呼び掛け人として司会を務める榛葉議員



療養所の現状等について説明する小鹿美佐雄・駿河療養所入所者自治会長(右)と水野英樹弁護士

政策研修会

◆ 静岡の労働組合幹部の皆様と意見交換

産業別労働組合であるJAM静岡(五月二十日)と電機連合静岡地方協議会(五月二十七日)が、派遣労働、地域医療、教育等に関する政策について担当省庁から説明を受けるために、参議院内で政策研修会を開催。榛葉議員は、静岡県並びに組合出身の同僚議員と共に出席し、最近の国会情勢等について意見交換を行いました。



議運が開かれる議長応接室にて説明(5月27日)

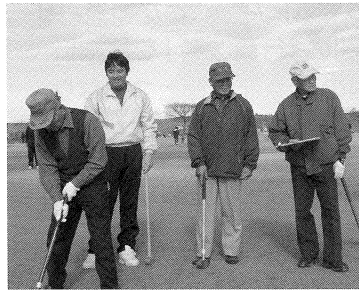


政策研修会にて挨拶(5月20日)

第3回グラウンド大会&役員忘年会

●12月23日(土) 小笠グラウンドゴルフ場

前日の大雨で開催が心配されましたが、216名の皆さんとともに榛葉議員も参加。好プレー珍プレー続出でしたが、小笠グラウンドゴルフ協会の方々にもご協力いただき無事終了。引き続き、小菊荘にて歩む会役員忘年会を開催しました。



第7回総会・国政報告会

●2月16日(土) 菊川文化会館アエル

第7回総会では、活動計画などを真摯に討論。また500名を超える参加者のもと、安住淳衆議院議員をお招きして国政報告会を開催しました。立ち見が出るほどの大盛況となりました。



国会見学&世界らん展ツアー

●2月28日(木) 国会議事堂・東京ドーム

今回は30名の参加者のうち、静岡市から15名が参加されました。参議院本会議場や委員会室の見学に加え、参議院食堂での昼食懇談もとても話が弾みました。東京ドームの世界らん展では、日本大賞受賞花や繊細な東洋蘭に魅了され、その後の「お楽しみ観光」では、昭和のシンボル「東京タワー」をじっくりと見学しました。来年も世界らん展(2009.2.14~22)に合わせて開催します。次回新年号で募集いたしますので、お楽しみに。



「2008政治セミナー」開催

●3月19日(水) 掛川グランドホテル

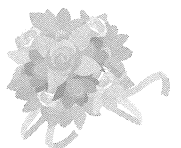
地元掛川で初めての開催となった今回の政治セミナーでは、県内外から500名を超えるご参加をいただき、民主党税制調査会長・藤井裕久衆議院議員が基調講演をおこないました。日本のあるべき税制を中心とした講演により、税についての関心が高まりました。



女性の応援団!「柚子の会」開催

●6月22日(日) 三島セントヘレナキッチン

榛葉議員を応援する女性の会『柚子の会』が開催されました。台風の様な大雨の中にもかかわらず120名に参加いただき大変盛り上がりしました。細野豪志衆議院議員とともに、国政報告の後、美味しいランチを一緒にいただきながら皆さんお一人おひとりと歓談し、とても楽しいひとときを過ごしました。



県内外各地にて座談会・講演会を開催

県内外各地にて、榛葉議員の考えや国会情勢、また身近な話題や素朴な疑問などを聞く座談会・講演会を随時実施しています。2008年前半では、地元小笠・大東・森の各支部に加え、企業や各種団体などでも講演をおこないました。個人のグループや趣味の集まり、企業・異業種交流会など、ご希望の方はぜひお気軽に事務所までご一報ください。



賀津也の部屋

国会生活8年目に入り、改めて気になることがある。国会での審議のことだ。橋本内閣の「行政改革」を発端に、省庁の統廃合が進んだ。複数の省や庁がひとつになり、役所の看板や大臣の数が減り、コストの削減につながるという訳だ。再編当時、国民も一定の支持を示した。

しかし、私は疑問に思う。例えば「厚生労働省」。旧労働省と旧厚生省が合併したのだが、結果、本来国会で審議されるべき重要問題が殆ど議論されていない。労働問題や障害者福祉の問題だ。委員会で議員に与えられた時間は限られている。必然的に議員は最も注目される政治課題

を取り上げざるを得なくなり、結果、年金や医療制度ばかりに話題が集中してしまう。

我が国はエネルギー自給率が4%でその他の工業資源も極めて乏しい。その日本が工業立国、貿易立国として国際社会で現在の地位を占めることができるのも、中小零細企業をはじめ、ものづくりの現場で、一人ひとりの労働者が努力されてきた結果に他ならない。非正規雇用や外国人労働者の問題を含め、労働の現場が今、悲鳴を上げている。ハンセン病や難病患者を含め、福祉の対応が遅れ、尊厳がないがしろにされている障害者問題も看過できない。障害者の働く権利も国民の主権に関わる問題だ。

答弁する役所の側には便利な省庁の統合だが、安易なコスト削減論のために本質を見失う事があっては絶対にならない。

第45回衆議院選挙 民主党公認立候補予定者

すべては国民のために。国民の生活が第一。政権交代に向け、一致団結!

負担と不満ばかりが増大する今の政治を変えるには、政権交代しかありません。民主党の活動にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

7区 斉木武志 (さいき たけし)
2区 津川しようご (つがわ しょうご)
1区 まきの聖修 (まきの せいしゅう)
5区 細野豪志 (ほその たくし)
8区 斉藤進 (さいとう すすむ)
3区 小山のぶひろ (こやま のぶひろ)
4区 田村けんじ (たむら けんじ)
6区 わたなべ周 (わたなべ しゅう)

榛葉賀津也 プロフィール

- 1967年4月25日 静岡県小笠郡菊川町(現菊川市)生まれ
 - 1986年 静岡県立掛川西高等学校卒業
 - 1991年 米国オハイオ州オタバイン大学政治学部及び国際問題研究学部卒業
イスラエル国立エルサレム・ヘブライ大学大学院国際政治学部留学
 - 1994年 菊川町議会議員当選(26歳・1期)
 - 2001年 静岡県選挙区より第19回参議院議員選挙 初当選(34歳)
 - 2007年 第21回参議院議員選挙 2期目当選(40歳)
- 現在：参議院・議院運営委員会理事、同総務委員会委員、
民主党静岡県総支部連合会会長代行、同選対本部長等

声 声 榛葉議員を応援しています!

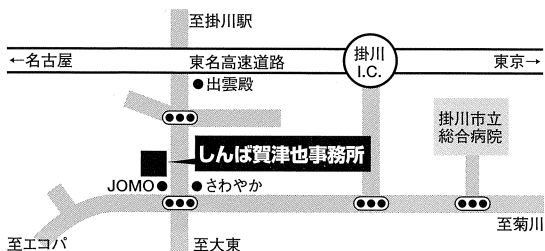
榛葉議員とは7年前、細野議員を応援していた関係で知り合い、3人で伊豆半島を回ったりいろんな活動をしました。政治に関する難しい事は分かりませんが、私の眼に狂いはありません。お人柄、気遣い、誠実さ、政治に対する取り組み、榛葉議員の「人として」「政治家として」の成長は素晴らしい、三島でも大変な人気です。これからも皆さんと一緒に一生懸命応援します。ともに頑張りましょう!

三島市 平山恵子

～民主党黨員・サポーター登録のお礼～

皆様のご理解とご協力を頂き、多くの民主党の黨員・サポーター登録を完了することが出来たことに、深く感謝申し上げます。おかげさまで目標数を大きく上回る方々にご登録頂きました。本当にありがとうございました。

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中! わたしたちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただける方を募集しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。



発行所 **しんば賀津也と歩む会**
〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356
E-mail: go@k-shimba.com
<http://www.k-shimba.com>
発行責任者: 会長 松下知生
しんば賀津也と歩む会NEWSのお問合せは、榛葉事務所・事務局 堀池まで